

タンネウシ 3月号



キレンジャクの次列風切

特別展開連事業・特別講演会

「旧石器・縄文時代からの住居構造の変遷」

演題 1 火災住居から見た縄文文化

村本周三氏（総合研究大学院大学文化科学科博士課程）

演題 2 平地住居の形式と変遷

宮本長二郎氏（東北芸術工科大学芸術学科教授）



国内の焼失住居跡に関する調査研究を行っている村本氏が「火災住居から見える縄文時代の様子」について解説します。また、古建築学が専門の東北芸工大宮本教授が「旧石器・縄文時代から近世までの住居建築の流れ」について発掘調査例から講演します。

考古学のみならず、古建築や建築様式などに興味のある方も是非お越し下さい。

日時：2007年2月18日（日）14:00～17:00

場所：博物館 2 階研修室

定員：70 名 要申込み 参加無料



知床博物館第 28 回特別展「最近の発掘調査成果展―来運 1 遺跡・ウトロ遺跡―」3 月 11 日（日）まで開催中！特別展図録最新刊「来運 1 遺跡」も販売しています。

会員の皆様には今月号のタンネウシと一緒に同封しています。

3月の博物館講座

はかなくとける雪の結晶を、思い出と一緒に形に残そう。

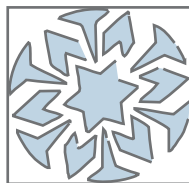
雪の結晶キーホルダーを作ろう！

3月24日（土）10:00～12:00

●定員 20 名 ●要申込み ●担当：合地学芸員

●参加（材料）費：大人 400 円・小中学生 200 円

雪の結晶をアクリル板に封入してレプリカのキーホルダーを作ります。また、流水の結晶も観察します。



結晶は、温度・湿度によってさまざまな形になります。斜里に降る 3 月の雪の結晶はどんな形でしょう。

ロビー展

はた織り会作品展

3月18日（日）～

第 18 回ははた織り会作品展です。さて、今年はどんな作品が出来上がったのでしょうか。博物館本館ロビー奥にありました作品展示ケースを、交流記念館入口付近に移しました。会員の皆さんの作品が季節・行事ごとにかわります。お楽しみに。

はた織り体験講座

3月27日（火）予定

※詳しくは来月号をご覧ください。



流水の海の動物観察会

2月24日（土）7:00～15:00

定員に少し余裕があります。

●対象小学 4 年生～高校生まで。

トピックス・最近メディアからは暖冬という言葉が盛んに聞こえてきます・同時に温暖化の事も・・・・流水の南限である知床では温暖化のサインが現れるのではないのでしょうか・野付半島では 2002 年以降、野付水道を埋め尽くす流水は一度も見られていません・ウトロでは流水初日から約一ヶ月後の 2/9、流水接岸を迎えました・まだ波に揺れる大小の氷が不思議な音を奏でてました・今冬の流水は今のところほぼ平均値・来るのが遅い・少ないと思っていたので意外な数値です（しまだ）